

自分の考えや思いを英語で伝え合うことに喜びを感じる児童生徒の育成をめざして

越ヶ浜中の
英語の取組

☆ 異学年集団での英語交流

～英語という教科を通して育てたい「心 (HEART)」～

2年生が職場体験で不在となったこの日のモジュール学習は、1年生と3年生が合同で英会話を行いました。この日のテーマは、「自由時間の使い方」についてでした。2つ学年が離れていますが、1年生が臆することなく対話をしている姿にはたくましい成長ぶりを感じました。



英語に耳を傾けてみると、内容自体はまだまだ発展途上ですが、ジェスチャー、表情、あいづちなど、相手との会話をがんばって続けようとする相手意識や姿勢がとても向上していることが分かります。



越ヶ浜中の英語科では、小中高連携英語教育推進校の指定となる前の昨年度から、右(→)のような約束事を生徒達と共有して、英語教室に掲げてきました。英語という教科を通して、言語の力を育むことはもちろんですが、コミュニケーションで最も大切な「心(HEART)」を育てたいという思いからです。

Koshichu's English CLASS

HEART

授業の5つの心構え(Attitude)

- H**elp each other with a smile. (笑顔で助け合おう)
- E**xpress your idea with English. (英語を使って自分の考えを表現しよう)
- Be **A**ctive! (積極的になろう)
- R**espond! (反応しよう)
- T**rial and error! (試行錯誤を重ねよう)

「心(HEART)」
の込められた
コミュニケーションを!

今回のモジュール学習のように、学年を超えて英語を話すということは、双方の間の知識量や経験に当然差があります。しかし、そんなやりとりの中でも相手の思いをくみ取ろうとする心があれば、格差を乗り越えてお互いの伝えたいことに対する理解度はぐっと深まるものだと思います。

小規模校のよさを生かし、デメリットを解消する方法として、今年度のモジュール学習の取組を行っていますが、生き生きと英語を話す生徒たちの姿に、いつも元気をもらえます。この異学年同士のやりとりは、研究発表大会本番の授業前にも披露する予定です。